

第2 児童発達支援センター 盛岡ひまわり学園

1 概要

(1) 児童福祉法に基づく設置目的を踏まえ、将来社会生活に適応し、自立するための諸能力の向上に向けた療育支援に努めた。

児童発達支援センターとして、保護者、地域社会及び関係機関との連携を図り、より良い児童の健全育成と地域福祉の増進に努めた。

(2) 児童一人ひとりの個別支援計画の作成について、保護者面談はもとより、児童発達支援管理責任者、クラス職員のほか、園長、副園長、相談支援専門員、栄養士を加えた個別指導会議を開催し、計画作成、モニタリング評価を行うなど、多職種連携による療育支援の充実と保護者との信頼関係の構築を図りながら安心して利用いただけるよう努めた。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について、園内行事は分散や2部制により密集を回避し開催した。親子遠足、ひまわりまつり、プール教室は、自粛したが、入園式、うんどう会、卒園式は参加人数を制限するなど、保護者の協力を得ながら開催した。保護者と連携を図り児童の健康管理に十分注意するとともに、感染者や医療従事者等への差別や誹謗中傷をしないよう呼びかけ、情報収集や早期対応を行った。

職員に対しては、体調管理・衛生管理を徹底し予防に努めたほか、行動記録の作成を指示し発生した場合のまん延防止対策を講じた。来園者に対しては、玄関での検温、アルコール消毒、マスク着用、入退館記録表への記入をお願いした。

(4) 保育士等養成に係る実習生の受け入れについて、大学、専門学校等の養成機関と緊密に連携し、実習生の体調管理の徹底を図るほか、オリエンテーションの実施方法や給食指導時のマスク着脱を見直すなど、指導課程を変更しながら、児童・保護者、実習生・養成機関、職員が安全で安心して実習できる環境を整えた。

また、全国保育士養成協議会東北ブロックセミナー盛岡大会において、施設実習における保育現場と保育士養成校の協働について実践発表を行い養成機関との連携を図るなど、福祉に携わる人材の育成に努めた。

2 短期経営計画に係る実績及び評価

取組み項目 1				
現状課題	将来ありべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
災害時等の事業継続に関する具体的方針の不足	事業継続計画（BCP）の策定と活用	関連資料、文獻、書籍等の調査、研究	災害時等の事業継続に関する調査研究	岩手県経営協主催の事業計画（BCP）策定セミナーを副園長が受講した。復命書をもとに職員間で情報を共有し、内容について確認した。
			専門研修への参加	
			事業所内勉強会開催	
			事業継続計画（BCP）の継続検討体制の構築	検討体制の構築までには至らなかった。

〈実績に対する評価〉

- ・ BCP についての情報共有と確認はできたが、検討体制の構築までには至らなかったため、令和5年度上期中に実施する必要がある。

取組み項目 2				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
地域の福祉ニーズの把握	地域の福祉ニーズ、多様なニーズへの対応	地域の福祉ニーズの把握のための調査研修	地域の福祉ニーズの把握のための情報収集	関係機関との会議や情報交換会に参加し、福祉ニーズに関する情報収集と意見交換を行った。

〈実績に対する評価〉

- ・ 何が求められているのか、どうあるべきかを意見交換を通して収集することができた。
- ・ 地域に根差した施設であるために今後も積極的に会議等に参加し、情報収集に努めていく。

取組み項目 3				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
適切な収益性の確保、中長期的整備計画の不足	安定的な収益性確保に基づく計画的な施設・設備整備	適切な収益性の確保のための調査研究	障害児発達支援の在り方と報酬改定による報告の情報共有	会議や終礼などで必要に応じて周知を図り、情報共有を行った。また、クラス長会議などでも在り方について検討する機会を設けた。
			施設整備計画の作成に向けた意見交換	組長以上の職員で意見交換を行った。
			障害児発達支援ガイドラインに基づく保護者等と職員による評価の実施	令和5年1月に職員と保護者等による評価を実施した。
			障害児発達支援ガイドラインに基づく保護者等と職員による評価結果の公表	評価結果をホームページで公表した。

〈実績に対する評価〉

- ・ 経営に関すること、収支に関することを毎月の実績をもとに確認することで、職員一人ひとりの意識づけに繋がった。
- ・ ガイドラインに基づく評価を行い、保護者の学園に対する期待や要望等を探ることができている。内容を職員間で共有し、解決、改善に向けた話し合いを行っていく必要がある。

取組み項目 4				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
業務の標準化と共有化	業務マニュアルに基づくOITの定着・習慣化	業務マニュアルの作成のための調査研究	関連資料、文献、書籍等の調達、研究	書籍や他施設のマニュアルをダウンロードし資料を集めた。
			既存マニュアルのリスト化	既存マニュアルについて見直しを行った。
			必要なマニュアルのリスト化	リスト化に関しては研修班を中心に検討中ではあるが、計画作成までには至っていない。
			マニュアル作成のための計画作成	

〈実績に対する評価〉

- ・ 必要なマニュアルやどこを見直すか等について検討するきっかけとなった。
- ・ 計画作成までには至らなかったため、スケジュールを作成し進めていく必要がある。

取組み項目 5				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
足	法令遵守に係る標準化の不足	法令遵守に係る標準化の調査研究	法令遵守項目等についての確認 法令遵守項目等についての調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年3月にいるか教室、いるか教室つしだの児童発達支援管理責任者と事業所指定基準の遵守等重要事項説明書に係る情報交換会を実施した。 ・ 身体拘束等の適正化指針を策定し令和4年3月25日から実施している。 ・ 虐待防止指針を策定し令和4年12月1日から実施している。

〈実績に対する評価〉

- ・ いるか教室、いるか教室つしだ各児童発達支援管理責任者による事業所指定基準、報酬改定、加算の取得等法令遵守に係る情報交換会を定期的開催する。
- ・ 令和5年度、いつ、誰が、何を、どのようにして確認するかを整備する。

取組み項目 6				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
働きやすさ、ワークライフバランスの確保	働きがい・生きがいの職場環境整備	業務改善の調査・研究	業務改善の意見交換	組長会議と各クラスごとに話し合いの場を設け、意見交換を行った。
			業務改善案の提案	システムの導入等を含め、業務改善に繋がる取組み等を提案してもらった。

〈実績に対する評価〉

- ・ 現在の職員数で対応できることについて等、職員間で考える良いきっかけとなった。
- ・ 意見交換、提案をもとに効率的な業務改善に向けて進めていく必要がある。

取組み項目 7				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
権利擁護と、虐待防止・個人情報保護法の対応の明確化	権利擁護、虐待防止・個人情報保護法等への対応の明確化と意識向上	権利擁護、虐待防止・個人情報保護法等への対応の明確化と意識向上	虐待防止等についての責任者の設置	責任者（園長）を設置した。
			虐待防止についての研修・実施	令和4年6月に虐待防止に関する園内研修を行った。
			法人が設置する虐待防止委員会への参加	令和4年12月16日の第1回虐待防止防止委員会に園長が参加した。
			園長による周知と徹底	障害者施設等における障害者虐待の防止と対応の手引きに基づき職員全員に説明を行った。また、身体拘束等の適正化指針、虐待防止指針を策定し実施している。

〈実績に対する評価〉

- ・ 虐待や身体拘束に関しての理解、対応について、また、どのような行為が虐待等に当たるのか具体例や類型を示しながら確認することができ職員一人ひとりの啓発にもつながった。
- ・ 定期的な研修や周知等の必要性、意識づけの重要性を再認識することができた。

取組み項目 8				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
評価と改善の取組	組織的な改善活動の継続	構築	サービス改善体制の構築	主任以上が集まり話し合いの場を設け、その後、クラス単位でも体制について検討を行った。
			利用者満足度調査の実施	行事ごとに評価、反省している。また、ガイドラインに基づく評価を保護者に向けて行い、必要に応じて回答した。

〈実績に対する評価〉

- ・ クラス単位で話し合うことで職員一人ひとりがサービスとは、また、改善体制について等意見を出し合うことができた。
- ・ 行事に関しても、コロナ等で制限がある中、前年度の評価、反省をもとに、園児、保護者に満足していただけるよう内容を検討した。

取組み項目 9				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
感染症の対策、対応	組織的な感染症への対応	感染症対策についての研修	専門研修への参加・園内研修	令和4年9月に外部講師を招き、感染症に関する園内研修を行った。また、盛岡私立保育所協会主催の保健グループ研修に参加し、意見交換を行った。
			感染症への対応マニュアルの見直し	マニュアルに関する見直しを行っている段階で、整備までには至らなかった。
			感染症への対応マニュアルの整備	
			対応マニュアルについての学習会開催	学習会の開催には至らなかった。

〈実績に対する評価〉

- ・ 研修を通して、感染症についての知識や対応の仕方について全員で学び直すことができた。
- ・ 様々な感染症が発生している中で、職員全員が同じように対応できるようマニュアルの作成と、整備についてスケジュールを策定しながら進めていく必要がある。
- ・ 今後は、いるか教室及びいるか教室つしたとも連携をとりながら共有、検討していく必要がある。

4 職員、利用児童の状況

(1) 職員の状況

(人)

職名	園長	副主幹兼副園長兼主任児童指導員	副園長	主任児童指導員	児童指導員	保育士	栄養士兼調理員	運転技士兼用務員	指導員	親子通園児童指導員	相談支援専門員	相談支援員	臨時補助員	非常勤嘱託医	計
人員	1	1	1	2	9	1	2	2	1	6	2	1	1	(4)	30 (4)

(2) 児童の状況

① ひまわり学園

ア 児童数

- ・ 定員 40名
- ・ 令和4年4月1日新入園児 17名 (男11名 女6名)
- ・ 令和4年4月1日現在 39名 (男26名 女13名)
- ・ 年度内入園 5名 (男4名 女1名)
- ・ 年度内退園 3名 (男3名 女0名)
- ・ 令和5年3月31日現在 41名 (男27名 女14名)
- ・ 令和5年3月退、卒園児 13名 (男9名 女4名)
- ・ 利用延児童数 7,976人 (令和3年度8,631人/年)
- ・ 利用児童1日平均 33.9人/日 (令和3年度36.6人/日)

イ 月別入・退園状況(各月末日現在) (人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍数	男	26	26	26	27	26	25	25	26	27	27	27	27	315
	女	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	166
	計	39	39	40	41	40	39	39	40	41	41	41	41	481
入園	男	11	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	15
	女	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
退園	男	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	9	12
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

ウ 退園児童の進路 (人)

男女	進路	保育園	幼稚園	小学校	特別支援学校	他事業所	転出	計
男		0	5	0	5	1	1	12
女		0	1	0	3	0	0	4
計		0	6	0	8	1	1	16

② 親子通園事業

ア 児童数

- ・ 令和4年4月1日現在 9名 (男7名 女2名)
- ・ 年度内入園(4月6日以降) 38名 (男31名 女7名)
- ・ 年度内退園児 10名 (男7名 女3名)
- ・ 令和5年3月現在 37名 (男31名 女6名)
- ・ 令和5年3月退園児 18名 (男14名 女4名)
- ・ 登園児総数 1,044人/年 (令和3年度1,493人/年)
- ・ 1日平均登園児数
 - わらしっこ教室 2.9人
 - わらしっこ都南教室 3.7人
 - わらしっこ玉山教室 0人

イ 月別入・退園状況(各月末日現在) (人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍数	男	9	14	16	15	16	15	18	22	27	28	30	31	241
	女	1	2	3	5	5	5	5	5	5	5	5	6	52
	計	10	16	19	20	21	20	23	27	32	33	35	37	293
入園	男	2	5	3	1	2	0	4	4	5	2	2	1	31
	女	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	0	1	7
退園	男	0	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0	14	21
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	7

ウ 退園後の進路

(人)

年齢 進路	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
認定こども園	0	1	2	12	1	0	0	16
幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0
ひまわり学園	0	0	1	3	0	0	0	4
転出	0	0	2	0	0	0	0	2
児童発達支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0
保育所	0	2	0	1	0	0	0	3
つくしんぼ	0	1	1	0	0	0	0	2
その他	0	0	1	0	0	0	0	1
計	0	4	7	16	1	0	0	28

5 事業実施の状況

- (1) 児童福祉法第43条に規定する児童発達支援センターとしての設置目的を踏まえ、将来、社会生活へ適応し自立できるよう、個々の児童の特性に応じて、基本的な生活習慣、身辺処理能力、コミュニケーション能力等の向上に努めた。
- (2) 個別面談を行いながら保護者の参画により個別支援計画を策定し、児童の生活の基盤である家庭生活への支援を行った。
- (3) 盛岡市から受託事業した親子通園事業は、障害等により支援を必要とする乳幼児をその初期において保護者とともに療育指導し、母親等に対して支援を必要とすることについての正しい理解と家庭での指導の方法及び療育等についての相談や助言を行った。ひまわり学園内の「わらしこ教室」と盛岡地域福祉センター内の「わらしこ都南教室」の2教室で実施し、玉山教室は教室利用を必要とする児童がいなかったため開催しなかった。
- (4) 障害を持つ児童を日常的に介護している家族の休息を図ることを目的として平日の午後3時から午後7時までと、土曜日の午前10時から午後3時まで日中一時支援事業を実施し、利用者サービスの充実を図った。
- (5) おもちゃ図書館事業は、心身に障害のある児童の健やかな成長を助長するため、おもちゃを備え、遊びの場の提供及び貸し出しを行う事業として、毎月第1・3土曜日の開館を計画していたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開館しなかった。
- (6) 岩手県障がい者自立支援協議会、盛岡広域圏障がい者自立支援協議会、盛岡市自立支援協議会、岩手県知的障害者福祉協会、岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会中央ブロック、盛岡市教育支援委員会、盛岡市乳幼児総合診査運営委員会等に委員として参加し、岩手県、盛岡広域圏、盛岡市関係機関との連携を図りながら障がい児が直面する課題解決に向けて検討を行った。
- (7) 児童発達支援センターに求められている地域支援として保育所等訪問支援事業や相談支援事業に取り組んだ。保育園等に就園する退園児も多いので、保育所等訪問支援事業の周知を進めながら、就園先に個々に応じた適切な支援の助言を行った。また、盛岡市立保育園7園の発達支援保育巡回指導に職員を派遣した。

(8) 行事

月	共通行事	学 園	親子通園
4		入園式 内科健診	はじまりの会 お花見・こいのぼり会
5	園内研修	こいのぼり会 個別面談	
6		耳鼻科健診	保護者学習会①
7	園内研修 2回	創立記念日 七夕会 眼科健診	リハビリ相談会 (前九年、都南) ①
8		夏季保護者会 夏季居宅指導 歯科健診	
9		うんどう会	保護者学習会② リハビリ相談会 (前九年、都南) ②
10	総合消防訓練 園内研修	内科健診 個別面談	保護者学習会③
11	園内研修 2回	焼き芋会 合同作品展	保護者学習会④
12	園内研修	クリスマス会 冬季居宅指導	クリスマス会 リハビリ相談会 (前九年) ③ 保護者学習会⑤
1		もちつき会	リハビリ相談会 (都南) ③
2	豆まき会	おたのしみ会	運営委員会
3		ひなまつり会 個別面談 卒園式	ひまわり学園見学会 すだちの会

定例的行事

- ① 共通行事 避難訓練 毎月1回
 ② 学園 職員会議 毎月1回、指導会議 毎月1回、体重測定 毎月1回、身体測定 年2回
 誕生会 毎月1回
 ③ 親子通園 職員会議 毎月1回、指導会議 毎月1回、
 誕生会 児童の誕生日に合わせて開催

(9) 日中一時支援事業実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	44	87	70	93	62	112	110	89	103	95	108	116	1,089 (958)

() 内は前年度数

(10) 保育所等訪問支援事業の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
保育所訪問(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)

() 内は前年

(11) 相談支援事業の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談支援(件)	31	24	23	17	20	16	20	14	17	25	23	14	244 (220)

() 内は前年度数

(12) おもちゃ図書館利用状況

- ① 開館日数 0日 (0日)
 ② 利用者数 0人 (0人)
 ③ 貸出件数 0件 (0件) ※ () 内は前年度数

(13) 盛岡市委託事業 盛岡市子ども発達相談所『ひまわり』事業実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話 相談	13	21	13 (12)	8	3	8 (9)	7	5	7	9	5 (10)	3	102 (107)
面接 相談	1	3 (4)	3	3	0	0	2	0	1	0	1	3 (4)	17 (19)
巡回 訪問	0	6 (29)	14 (48)	13 (47)	12 (55)	16 (68)	15 (84)	15 (60)	11 (44)	12 (65)	8 (51)	10 (48)	132 (599)
計	14	30 (54)	30 (63)	24 (58)	15 (58)	24 (77)	24 (93)	20 (65)	19 (52)	21 (74)	14 (62)	16 (55)	251 (725)

単位：件 () 内は人数

6 その他

(1) 関係機関との連携

盛岡市母子健康課と親子教室、乳幼児総合診査事業への職員派遣や情報交換を中心として連携を深めた。

(2) 地域との交流

地区子供会(前九年三丁目子供会)と園児との交流会(1回)ひまわりまつり、うんどう会等の行事に地区住民、関係機関を招待し、地域連携を図る計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

(3) その他

地区子供会との除草奉仕活動と厨川小学校の子ども会で実施している資源回収(古紙を出し協力している～年2回)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。